



# どうし ひていかこけい 動詞の否定過去形「～なかった」

この課では「食べなかった」「歌わなかった」「行かなかった」など、過去の出来事を否定する言い方を学びます。



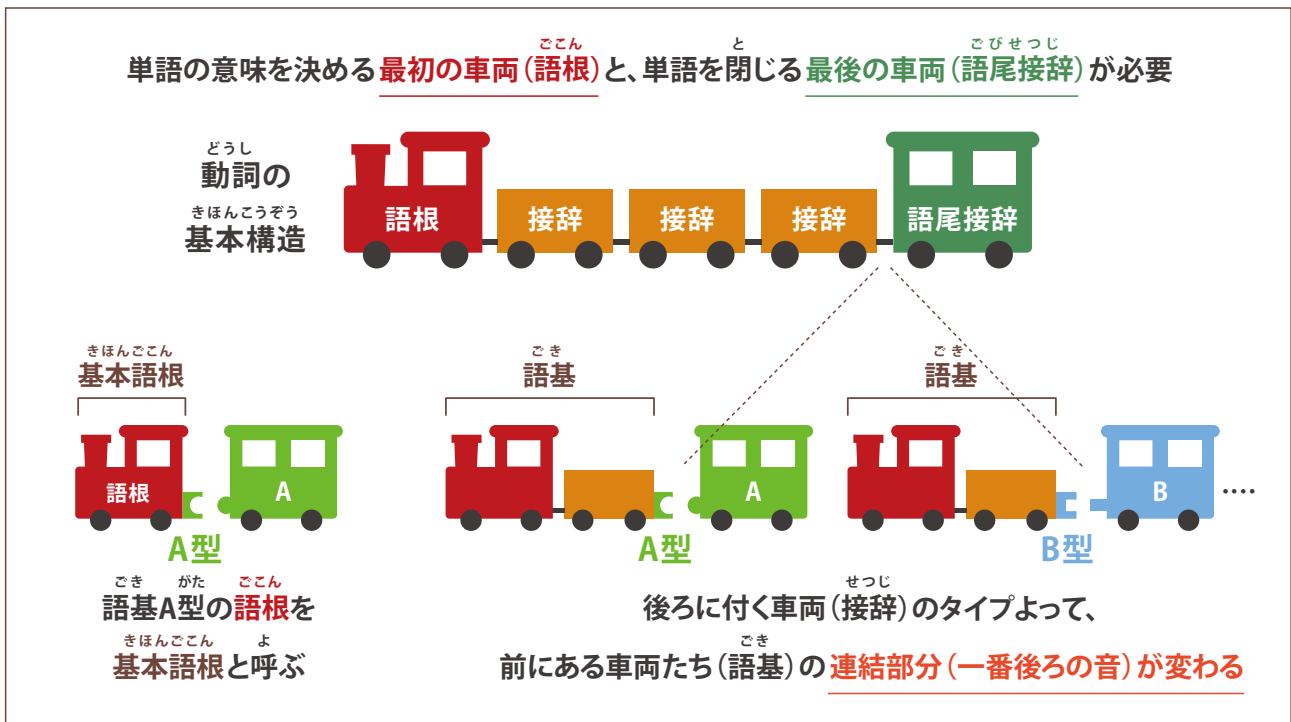
「～なかった」と過去の否定を表したいときには、2つの表し方がある。

1. 動詞の否定継起形「～なくて」の後に ataN「～あった」を続ける。
2. 語基(A型)に否定過去接辞<sup>1</sup>radanaataと語尾接辞をつける。

## 1 動詞の基本構造 (3-5「動詞の基本構造」参照)

動詞を列車にして説明します。動詞は、単語の意味を決める機関車(語根)に、様々な意味を持つ、付属の車両(接辞)が付いて作られます。列車が走るためには、最初の機関車(語根)と、単語を閉じられる、最後の車両(語尾接辞)が必要です。

ある車両(接辞)の前にある車両全体を、その接辞に対する「語基」と呼びます<sup>2</sup>。後ろに付く車両(接辞)のタイプによって、前にある車両たち(語基)の連結部分(一番後ろの音)が変わります。このように、変化する語基のタイプには、A型(基本形)、B型、C型の3種類があります。語基A型の語根を「基本語根」と呼びます。



<sup>1</sup> - は接辞のマークです。

<sup>2</sup> 語根に直接、語尾接辞が接続する場合には、語基＝語根になります。2以降の説明は、すべて語基＝語根ですので、語基と語根を読みかえても大丈夫です。

## ひていかこけい 2 否定過去形「～なかった」

### ひていけいきけい 2-1 否定継起形 + ataN

前の課で学んだ否定継起形の動詞「～なくて」の後ろに、ataN「～あった」を続けると「～なかった」という意味になります。

<p><b>abiradana ataN</b></p> <p>呼ばなくて あった</p> <p>よ</p> <p>「呼ばなかった」</p>
--

<p><b>hakadana ataN</b></p> <p>書かなくて あった</p> <p>「書かなかった」</p>
--

### ひていかこせつじ 2-2 否定過去接辞 + radanata

否定継起形 + ataNの連続がくっついて1つになった形もあります。この場合は **-(r)adana** という否定過去接辞を想定した方が良さそうです。否定過去接辞は語基A型に接続します。語基が母音で終わる場合には **-radanata**、語基が子音で終わる場合には **-adanata** を付けます。



例えば「帰る」という動詞の場合、基本語根（語基A型）の **mu<sup>3</sup>du**（母音終わり）に否定過去接辞 **-radanata** と語尾接辞（ここでは、直説接辞 **-N**）を付けて **mu<sup>3</sup>du-radanata-N** 「帰らなかった」となります。「待つ」という動詞の場合、基本語根の **mat**（子音終わり）に否定過去接辞 **-adanata** と直説接辞 **-N** をつけて **mat-adana ta-N** 「待たなかった」となります。

	基本語根（語基A型）		否定過去形	「～なくて」
母音終わり	<b>abi</b> 「呼ぶ」	→	<b>abi-radana ta-N</b>	「呼ばなかった」
	<b>kuri</b> 「くれる・あげる」	→	<b>kuri-radana ta-N</b>	「くれなかった」
子音終わり	<b>hak</b> 「書く」	→	<b>hak-adana -N</b>	「書かなかった」
	<b>mat</b> 「待つ」	→	<b>mat-adana -N</b>	「待たなかった」

<sup>3</sup> 語根だけの形を、ななめ文字で表します。語根だけでは単語は成り立ちません。

### 3 発音してみよう

「～なかった」という過去の否定形は、<sup>かこ</sup>日常会話でよく使います。<sup>ひてい</sup>色々な動詞で、<sup>にちじょうかいわ</sup>実際に発音してみま<sup>どうし</sup>しょう。

<b>abi-radanata-N</b> <small>呼ぶ - 否定過去 - 直説</small> <small>よ</small> <b>「呼ばなかった」</b>	<b>nas-adanata-N</b> <small>産む - 否定過去 - 直説</small> <b>「産まなかった」</b>	<b>sin-adanata-N</b> <small>死ぬ - 否定過去 - 直説</small> <b>「死ななかった」</b>	<b>hak-adanata-N</b> <small>書く - 否定過去 - 直説</small> <b>「書かなかった」</b>
<b>mat-adanata-N</b> <small>待つ - 否定過去 - 直説</small> <b>「待たなかった」</b>	<b>uig-adanata-N</b> <small>泳ぐ - 否定過去 - 直説</small> <b>「泳がなかった」</b>	<b>kam-adanata-N</b> <small>食べる - 否定過去 - 直説</small> <b>「食べなかった」</b>	<b>asib-adanata-N</b> <small>遊ぶ - 否定過去 - 直説</small> <b>「遊ばなかった」</b>

#### 練習問題

(1)-(7) はそれぞれの動詞の<sup>どうし</sup>基本語根<sup>きほんごこん</sup>です。

次の動詞の<sup>どうし</sup>否定過去形<sup>ひていかこけい</sup>「～なかった」を予想して書いてみましょう。

(1) *nibu* 「眠る」  $\longrightarrow$  ( ) 「眠らなかった」

(2) *hurus* 「殺す」  $\longrightarrow$  ( ) 「殺さなかった」

(3) *ak* 「歩く」  $\longrightarrow$  ( ) 「歩かなかった」

(4) *tat* 「立つ」  $\longrightarrow$  ( ) 「立たなかった」

(5) *fuug* 「(船を)こぐ」  $\longrightarrow$  ( ) 「(船を)こがなかった」

(6) *num* 「飲む」  $\longrightarrow$  ( ) 「飲まなかった」

(7) *tub* 「飛ぶ」  $\longrightarrow$  ( ) 「飛ばなかった」